

報道部特集

東北大学新聞について紹介します!

東北大学新聞は東北大学唯一の公認の学生新聞です。月に1回、毎月中旬に発行されています。今回は川内北キャンパスにある主な配布場所を紹介します。ぜひ手に取って読んでみてください。

講義棟(A棟とB棟の間、B棟とC棟の間)



教育・学生総合支援センター



厚生会館



学友会費納入のお願い 学友会は皆さんの会費で支えられていますので、学友会費の納入にご協力をお願いします。
問い合わせ先 **022-795-3983** (活動支援係:教育・学生総合支援センター1階2番窓口)



学友会ホームページ:
トップページから「教育・学生支援」→「学友会・サークル」の順にリンクをたどってください。



新総長へのインタビュー

第22代総長 大野 英男



新生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
これからみなさんの学びの場となる東北大学は、指定国立大学法人に選ばれたように、日本を代表する総合研究大学として、これまでも世界的な研究成果を挙げてきました。本学は、「教育」「研究」「社会連携」の三つの柱を今後さらに高いレベルで推進することで、学生のみなさんが飛躍できる場を提供し、グローバル化した社会を担う本学ならではの人材育成を行い、総合研究大学としての飛躍を目指して挑戦していきます。
本学は、「研究第一主義」、「門戸開放」、「実学尊重」の伝統の下、新たな学問分野の開拓を通じて人類に資する知を築く役割を担っています。革新的な学問分野の開拓に取り組む一方で、人文社会系の学問のさらなる深化も求められます。文化的視点は、生きていく上での豊かさの一環であり、学問の意義を定めるための根幹をなします。また、災害に対処するための総合的な「知」の創造が不可欠であることを、私たちは東日本大震災で身をもって体験しました。多くの地域が復興途上にある中で、それぞれの学問領域からなる多面的な貢献も求められています。大学はこのような「知」を創る場所です。大学での学問がどのように社会に還元されていくのか、広い視野で捉えていくことが重要です。みなさんには、自らの専門となる分野以外の領域も主体的に学び、教養を身につけ、東北大学の学生ならではの広い視野と高い視点を養ってほしいと思います。
課題活動では、講義や研究とは一味違った経験を積むことができます。課外活動に主体的に取り組むことで、社会や仲間との繋がりを実感し、日常生活が豊かなものになります。是非選んだ分野に一生懸命に取り組んでみてください。
本学の学生は、非常に高いポテンシャルを持っています。本学は、みなさんがやりたいことにチャレンジできる場を提供していますので、その機会を余すところなく活用して一人ひとりが内に秘めたものを、ぜひ本学で開花させてほしいと思います。
現在、世界は急速に変わりつつあります。その中で、どのような未来を築いていくのかは、これからの社会の担い手であるみなさんに委ねられています。平和で豊かな社会を築くため、本学でのさまざまな活動や経験を通して、社会を先導していく人材に成長することを期待しています。
みなさんは、それぞれが持つ夢を成し遂げるために、挑戦する気持ちを常に持ち続けてください。東北大学はみなさんの夢を実現するためのたくさんの場を提供しますが、海図のないところに最初の一步を踏み出すのは、みなさん自身です。夢の実現と、これからの社会を担う実力をつけるために、有意義な時間を過ごし、本学で大きな飛躍を遂げることを願っています。

P.1 ●新総長へのインタビュー	P.2-3 ●混声合唱部 ●男声合唱部 ●リコーダーアンサンブル ●男子ラクロス部 ●応援団	P.4 ●報道部特集 東北大学新聞について紹介します!
---------------------	---	-----------------------------------

学友会 本学全ての学生・教職員が会員となり、サークル活動、大学祭、新入生歓迎行事、教職員スポーツ大会などに対する支援を行っています。
この広報紙は皆さまの学友会費により作製されています。



文化部

体育部



学友会には様々な学生組織が所属しています。ここではいくつかの団体を紹介します。他にも多くの団体があるので是非興味のある団体をさがしてみてください。

混声合唱部

混声合唱部は米国ニューヨークにあるカーネギーホールで昨年9月に行われた日米合唱祭「風の輪コンサート」に参加しました。カーネギーホールは世界でも有数のコンサートホール。異国の地で参加するコンサートは言葉の壁など不安なこともありましたが、曲が終わると大歓声があがり、合唱の成功を感じることができました。



男声合唱部

男声合唱部も混声合唱部とともに米国カーネギーホールで日米合唱祭「風の輪コンサート」に参加し、東北の民謡を披露しました。異国の地で合唱を行うという貴重な経験を得ることができました。部のメンバーは1・2年生を中心としており、和気あいあいとした雰囲気で行う日々の練習に励んでいます。男声合唱の特徴である力強い歌声をぜひ聞いてみてください。



リコーダーアンサンブル

リコーダーアンサンブルによる定期コンサートが昨年11月に行われました。8月の夏会議で発表曲と演奏者を決め、10月から各々練習を重ねてきました。音の出し方がシンプルでありながら息遣いだけで音色が変わるリコーダーはとても奥深い楽器です。今後はもっと幅広いジャンルの曲に挑戦していきたいです。



男子ラクロス部

男子ラクロス部は昨年11月に行われた全日本ラクロス大学選手権大会で2年連続のベスト4に入りました。しかし、目標としていた「関西突破」を達成できなかったのが、悔しい気持ちも大きいです。この大会で学んだことをしっかりと次に生かしたいと思います。

男子ラクロス部は昨年12月に新体制になりました。1年生と上級生で別だった練習メニューを一緒にするなど、先輩後輩間で積極的にコミュニケーションを取ることを大切に、日々練習に励んでいます。学年間の隔たりがない関係を作れることも大学ラクロスの大きな魅力の一つです。一人ひとりが自分の考えを持ちながらチーム一丸となって、次回は決勝進出を目標に頑張ります。



応援団

応援団は学内行事や公式試合での応援を行っています。リーダー部のたくましい姿、チアリーダー部の華麗な舞、そして吹奏部の迫力ある音。三つのパートが合わさることで応援団の応援は完成します。観客や選手を盛り上げる演奏や踊りを行うことで、一緒に試合を闘う気持ちになることができるのも応援団の魅力の一つです。

演奏では部員一人ひとりが表現や音の出し方を工夫し、高いレベルの応援ができるように



日々の練習をしています。入部者には初心者も多くいますがそれゆえに固定観念にとらわれない応援ができます。興味がある人は是非一度応援を見て、聴いてみてください。